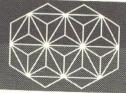


C 「こと・の」の使い方



「こと」「の」は両方同じように使える場合と、使い分けなければならない場合があります。
In some cases, こと and の may be used interchangeably, but in others they have separate, distinctive uses.
「こと」和「の」之间既存共性，也存在差异。用法相同时可以互换，存在差异时必须严格区分使用。

◆「こと」だけを使う場合（「の」は使わない）

a) 「～は…ことだ」の文で、～の内容を…で示すとき

こと only is used when … explains what ~ is in a ～は…ことだ sentence.
以「～は…ことだ」的形式表示“～的内容是…”时，只能用「こと」。

- 例・わたしの将来の夢は、漫画家になること(の)です。(将来の夢=漫画家になること)
 ・サッカーというスポーツの特徴は、基本的に手を使つてはいけないこと(の)だ。
 ・AランチとBランチの違いは、Aが魚料理でBが肉料理であること(の)だ。

b) 「こと」を使う文法形式 Grammatical forms using こと./由「こと」构成的语法形式

～ことがある ⇒ 「たまに～の場合がある。」

①妻はぼくが話しかけても返事をしないことがある。

②以前は仕事が多くて、12時ごろ家に帰ることもあった。

❖ 動辞書形／ない形 + ことがある

～ことはない ⇒ 「～する必要はない・～しなくてもいい。」

①面接の質問は簡単ですよ。そんなに心配することはありませんよ。

②少し熱があるが、ただのかぜだろう。すぐに病院に行くことはない。

❖ 動辞書形 + ことはない

～ということだ・～とのことだ

→ 第1部 7課-①

～ないことない

→ 第1部 8課-④

～ことは～が、…

→ 第1部 8課-⑤

～こと

→ 第1部 10課-②

～ことにする・～ことにしている

→ 第1部 11課-①、第1部 G

～ことになる・～ことになっている

→ 第1部 G



◆「の」だけを使う場合（「こと」は使わない）

a) 感覚でとらえた音や光景などを言うとき（「見る・見える・眺める・聞こえる・感じるなど」の動詞を使う。）

only is used when sounds, sights, etc. are registered by the speaker using his senses; (used with verbs such as みる, みえる, ながめる, きこえる or かんじる).

表示自己亲身感知到的声音或情景时，只能用「の」。此时句子的主动词多为「みる・みえる・ながめる・きこえる・かんじる」等。

例・この窓から庭で子どもたちが遊んでいるの（二七）が見える。

・あの日、家が大きく揺れるの（二七）を感じた。

b) 「～のに（は）…」の文で、～という目的についての評価（便利だ・役に立つなど）を…で言う

→第3部 1課

とき

only is used when, in a sentence using ～のに…, the speaker wishes to express an opinion (…) about an object (~), using words such as べんりだ or やくにたつ。以「～のに…」的形式，表示对想实现的事项～的评价时，只能用「の」。此时，…为表示说话人的评价的小句，如「べんりだ・やくにたつ」等。

例・車はこの村で生活するの（二七）にどうしても必要なのだ。

・短時間で食事をするの（二七）にはファストフードがやはり便利だ。

c) 「～のは…だ」の文で、強調したい情報を…で示すとき

→第3部 1課

only is used when the speaker wishes to emphasize information in … in a sentence using the ～のは…だ pattern.

以「～のは…だ」的形式，表示说话人想强调的内容是…时，只能用「の」。

例・彼女に初めて会ったの（二七）は5年前である。（5年前に彼女に会った。）

・遅く帰ったの（二七）は残業があったからだ。

d) 「の」を使う文法形式 Grammatical forms using の./由「の」构成的语法形式

～というのは…だ ⇒ 「～の意味は…だ。」

① 正三角形 というのは三辺の長さが同じ三角形のことである。

② 「アクセスする」というのはどんな意味ですか。

名 + というのは…だ

～のではないか・～のではないだろうか ⇒ 「～と思う。」

① こんなに塩辛い食品は体によくないのではないか。

② もしかしたらヤンさんは本当のことを知っているのではないかでしょうか。

普通形 (形名 - な・名名 - な) + のではないか・のではないだろうか



練習1

適当なものを選びなさい。(一つの場合も二つの場合もあります。)

- 1 失敗の原因は、しっかり ひと ぱい ふた ぱい
- | |
|----------------|
| a 準備をしなかったのです。 |
| b 準備しませんでした。 |
| c 準備しなかつたことです。 |

- 2 わたしは木の下で み
- | |
|------------|
| a みんなが踊るの |
| b みんなが踊ること |
| c みんなの踊り |

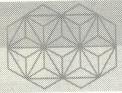
- 3 い
- | |
|-----------|
| a 食事に |
| b 食事をするのに |
| c 食事をしに |

- 4 きみ しょうらい かんが い
- | |
|-----------|
| a 泣くのはない |
| b 泣くことはない |
| c 泣かないの |

練習2

() 中に「の」か「こと」を書きなさい。

- 1 パソコンはグラフを作る()に役立つ。
- 2 わたしはホテルの窓から夕日が沈む()を見ていた。
- 3 電車が遅れる()もあるので、早めに家を出たほうがいい。
- 4 彼の欠点は時間を守らない()だ。
- 5 わたしが泳げるようになった()は、30歳のときなんです。
- 6 氷点という()は水が氷になる、または氷が水になる温度のことである。
- 7 わたしがたばこをやめた()は、赤ん坊のことを心配したからだ。
- 8 憄てる()はない。時間はまだ十分ある。
- 9 これからはますます就職が難しくなる()ではないか。
- 10 この道具は短時間で野菜を細かく切る()に便利だ。
- 11 特別賞をもらった()はわたしではなくて、ヤンさんという人です。
- 12 あれ? あっちの方からだれかが呼んでいる()が聞こえませんか。



ワンポイントレッスン 「物」と「こと」

◎()の中に「物」か「こと」を書きなさい。

- 1 由美が作る()はいつもとてもおいしいね。
 - 2 おいしい料理を作る()はとても楽しい。
 - 3 子どもを育てるという()をわたしは大切に考えています。
 - 4 これは何という()ですか。触ってみてもいいですか。
 - 5 子どものころ祖母にいつも言っていた()を思い出した。
 - 6 友だちに「持ってきてね」と言っていた()を家に置いてきてしまった。
 - 7 この作文は先週自習の時間に書いた()です。
 - 8 先週作文に書いた()は、全部本当です。
 - 9 今日やりたいのは、ここに置いてある(①)を片付ける(②)です。
-▼.....

物： 形がある、目で実際に見える実体

Something that has shape and is physically visible to the eye.

有具体的外形，是眼睛能看到的实体。

例・ちょっと見てください。これ、きのう話した物です。

・何か食べる物はありませんか。

・昔、おじが外国で買ってきてくれた物を今でも大切にしている。

こと：形がなく、目で見えない内容

Something lacking shape, and invisible to the eye.

没有具体的外形，是抽象的内容，肉眼无法感知。

例・きのうわたしが話したことは全部本当ですよ。

・わたしたちだけでおいしい物を食べることは、お父さんにはだまされていよう。

・昔、おじが外国からお土産を買ってきてくれたことをよく覚えている。